

# ひかりのこ

11月園便り  
認定こども園  
聖ミカエル幼稚園  
2021年10月19日

## 月主題：深める

### 「札幌聖ミカエル教会70周年を迎えて」

10月10日（日）札幌聖ミカエル教会が70周年を迎えました。この東区の地に根を張って70年がたちます。

最初は今の礼拝堂ではなく、小さな木造の教会でした。私が生まれてからは、もう、今の教会でした。幼かった私の教会の思い出と言えば、床の石畳です。あの丸い石がランダムに敷き詰められている模様の面白さに、よく下を向いて歩いていたように思います。今の園児は、教会に入るとき、いろいろなものを眺めています。教会の天井のエゾ松の梁、くるくる回るファン、そうして私と同じように床の石畳を一心に見つめながら歩いている子もいます。日常にはない教会の風景が、いつか子どもたちにとって温かい思い出と共に、原風景になるのではないかと思います。

また私は、ミカエル幼稚園で、たくさんお祈りをして、たくさん紙芝居を読んでもらって、たくさんお外で遊んで、先生たちの深い愛に包まれて育ちました。卒園してからも、日曜学校でたくさん神様のお話を聞いて育ちました。日曜学校では教会の信者の方々からたくさんのお話を聞いて育ちました。

今この聖ミカエル幼稚園で毎日生活をしている子どもたち、卒園してから日曜学校に来ているお友達や、保護者の皆様が、同じようにミカエルで神様の愛を感じ、人々の温かさを感じ、それをまた次の世代に伝えてくだされば、と願います。そうして、聖ミカエル教会・聖ミカエル幼稚園がこれからも社会に開かれ、小さな種をまいていけますように、願っております。

園長 渡部 良子

## キリスト教保育

### 「幼稚園を与えてください」

去る10月10日（日）、札幌聖ミカエル教会は活動を開始して70周年の記念礼拝を行いました。当初、教会は現在の場所から100メートルほど離れた場所に建てられました。建てたのは当時の青年たちで、もちろん専門的な知識も不足する中での作業でした。たまたま通りかかった仕事帰りの大工さんが見かねて手伝ってくれたという逸話も残っています。とても小さな礼拝堂でしたが、そこには未来への希望と情熱が詰まっていました。

その頃は家もまばらで原っぱが多く、少しして現在の場所に建物を引っ張って移動しました。

やがて信徒が増えた頃、タッカー司祭が初代牧師として着任しました。北海道の聖公会は、明治時代からイギリス人宣教師がほとんどでしたが、タッカー司祭はアメリカ人で、彼もまた未来を見据える力のある人でした。

教会は信徒のためだけにあるのではなく、社会に開かれ、社会に奉仕する存在でなければならないと考えました。そこで最初に取り組んだのが教会付属の幼稚園の設立でした。その後、青年寮ができ、国際青年寮に受け継がれていきます。何をやるにも資金が乏しく、経験もありませんでした。ただ「幼稚園を与えてください」という「祈り」だけがありました。祈れば、不思議と必要なものは与えられるものなのです。これからもミカエル教会、幼稚園は、祈りつつ新しいミッションに取り組んでいきます。そして共に夢を持って歩んでくださる方が増えることを願っています。

チャプレン 司祭 下澤 昌

